

特別企画：2022 年長野県女性社長分析

女性社長比率 6.5%、微増続くも全国の中では3番目に低位 ～就任経緯別では「同族承継」57.7%～

はじめに

2022年4月に改正女性活躍推進法が施行され、女性活躍に関する情報公開の対象が従業員数301人以上から101人以上の企業に拡大されるなど、女性の労働参加は大きな変革期を迎えている。しかし、世界経済フォーラム（WEF）において2022年時点の日本の「ジェンダーギャップ指数」は146カ国中116位にとどまった。昨今、SDGs・ESGの観点からも女性活躍の推進が世界的に求められているが、日本は他国と比較して後塵を拝している。なお、昨年9月に行った「女性登用に対する長野県内企業の意識調査」で算出した県内企業の女性割合は、役員12.1%、管理職8.7%にとどまった。

帝国データバンクでは、自社データベースに基づき、個人事業主、非営利・公益法人などを除いた全国約119万社のうち、2022年10月時点で女性が社長を務める企業を抽出。そのうち、長野県内に本社を置く企業について分析を行った。女性社長分析調査は今回が9回目となるが、2020年の調査より調査対象として従来の株式会社、有限会社に合同会社、合名会社、合資会社を加えており、過年度の女性社長比率についても遡及計算を行っている。

調査結果（要旨）

■長野県の女性社長比率は6.5%、全国順位は44位

2022年4月末時点における長野県の女性社長比率は6.5%と、前年（6.3%）を0.2ポイント上回った。32年前（1990年、3.0%）から3.5ポイント上昇、緩やかながら増加が続いている。都道府県別の順位は、同率44位（低い方から3番目）だった。

■女性社長の平均年齢は64.2歳、男性社長を2.9歳上回る

県内の女性社長の平均年齢は64.2歳と、前年（64.1歳）から0.1歳上昇した。男性社長（61.3歳）より2.9歳高い。年代別分布をみると、「70～74歳」（17.6%）が最大。

■就任経緯別では「同族承継」が増加、「創業者」が減少

就任経緯別では、「同族承継」57.7%、「創業者」30.1%など。「同族承継」が前年から6.1ポイント増加したのに対し、「創業者」は6.6ポイント減少した。

■業種別女性社長比率、「不動産」15.8%、「サービス」10.0%、「小売」9.4%

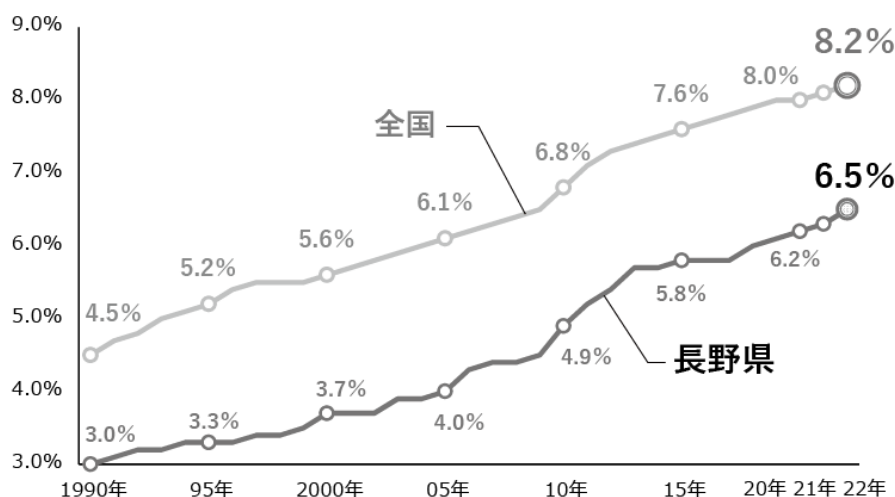
女性社長比率を業種別にみると、「不動産」が15.8%で唯一15%を超えた。以下、高い順に「サービス」10.0%、「小売」9.4%、「運輸・通信」7.5%、「卸売」6.0%など。

1. 女性社長比率は過去最高を更新、緩やかに増加するも全国で3番目に低位

2022年（10月）における長野県の女性社長比率は、前年比0.2ポイント増の6.5%と過去最高を更新した。統計として遡れる1990年（3.0%）からは32年間で3.5ポイント上昇。この間、緩やかに増加してきたが、32年間で全国は3.7ポイント上昇（1990年4.5%→2022年8.2%）しており、全国との差は一進一退を続け、なかなか縮まらない。

全国で女性社長比率が最も高い都道府県は沖縄県と徳島県（各11.6%）。沖縄県は2013年以降10年連続となる全国トップを維持した。以下、青森県（10.9%）、佐賀県（10.4%）、奈良県（10.2%）、高知県（10.1%）までが10%以上。一方、最も低かったのは岐阜県（5.8%）、次いで愛知県（6.4%）、そして長野県は滋賀県と同率で全国で3番目に低い。過去には最も低かったこともあるなど、長野県は低位が続く。女性社長比率は長野県を含む中部エリアで低くなる傾向がみられる。

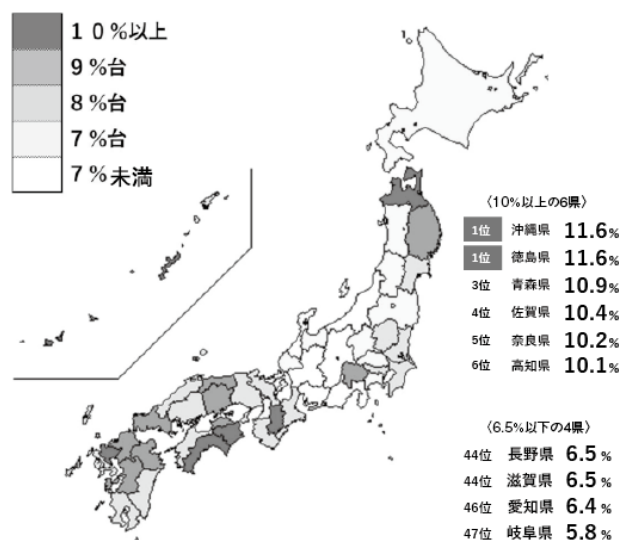
■女性社長比率の推移（長野県・全国）



■女性社長比率・長野県の全国順位の推移

年	女性社長比率(%)		長野県の 全国順位	年	女性社長比率(%)		長野県の 全国順位
	全国	長野県			全国	長野県	
1990	4.5	3.0	46	2006	6.2	4.3	47
1991	4.7	3.1	47	2007	6.3	4.4	46
1992	4.8	3.2	47	2008	6.4	4.4	46
1993	5.0	3.2	47	2009	6.5	4.5	47
1994	5.1	3.3	47	2010	6.8	4.9	46
1995	5.2	3.3	47	2011	7.1	5.2	46
1996	5.4	3.3	47	2012	7.3	5.4	46
1997	5.5	3.4	47	2013	7.4	5.7	45
1998	5.5	3.4	47	2014	7.5	5.7	46
1999	5.5	3.5	47	2015	7.6	5.8	45
2000	5.6	3.7	47	2016	7.7	5.8	45
2001	5.7	3.7	47	2017	7.8	5.8	45
2002	5.8	3.7	47	2018	7.9	6.0	45
2003	5.9	3.9	47	2019	8.0	6.1	44
2004	6.0	3.9	47	2020	8.0	6.2	44
2005	6.1	4.0	47	2021	8.1	6.3	45
				2022	8.2	6.5	44

■女性社長比率 全国比較

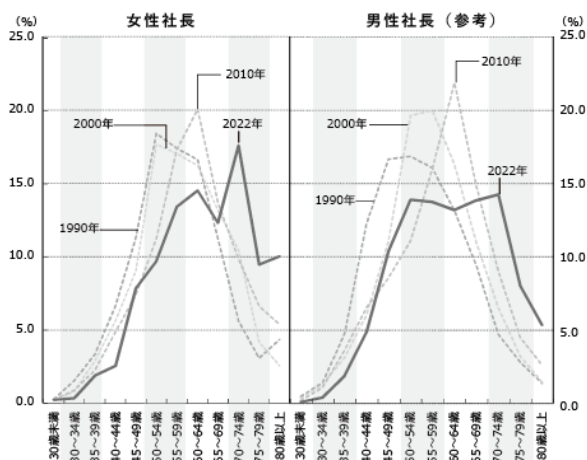


2. 女性社長の平均年齢は 64.2 歳、年代構成では「70-74 歳」が 17.6%で最多

県内の女性社長の平均年齢は、前年よりも 0.1 歳上昇し 64.2 歳。男性社長の 61.3 歳を 2.9 歳上回っており、女性社長の方が高齢化が進んでいる。全国平均は女性社長が 62.9 歳、男性社長が 60.4 歳。長野県の方が女性社長は 1.3 歳、男性社長は 0.9 歳高い。

5 歳ごとの年代別構成では、「70-74 歳」が 17.6%（前年 17.8%）で最も高く、「60-64 歳」14.6 歳（同 13.6%）、「65-69 歳」12.3%（同 14.2%）と続く。70 歳以上の比率が高まる一方で、「65-69 歳」の比率は下がっている。

■女性社長の年代構成比 経年変化

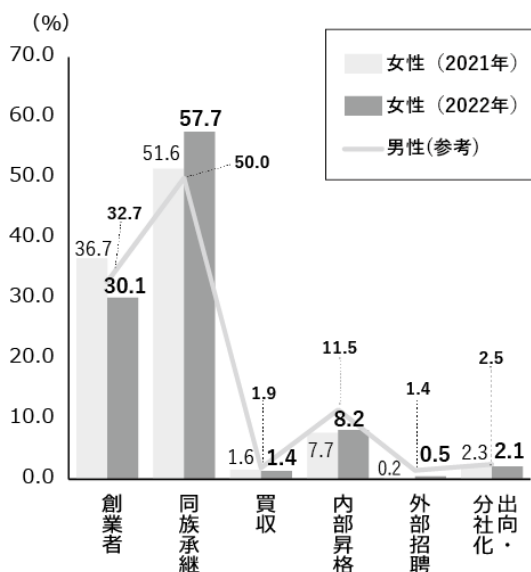


年代別	1990年	2000年	2010年	2020年	2022年
30歳未満	0.3 (△0.4)	0.2 (△0.3)	0.3 (△0.2)	0.1 (△0.1)	0.2 (△0.1)
30-34歳	1.5 (△0.1)	0.8 (△0.6)	0.9 (△0.4)	0.8 (△0.1)	0.3 (△0.6)
35-39歳	3.3 (△0.5)	2.9 (△0.3)	2.3 (△1.1)	0.8 (△1.6)	1.9 (△0.5)
40-44歳	6.7 (△3.5)	5.6 (+0.4)	4.9 (△0.5)	3.3 (△1.3)	2.5 (△2.0)
45-49歳	11.3 (△1.4)	9.0 (+0.2)	7.4 (△1.0)	8.7 (+0.6)	7.8 (△0.4)
50-54歳	18.5 (+3.4)	17.7 (+0.0)	11.3 (+1.0)	10.1 (△0.2)	9.7 (△1.3)
55-59歳	17.4 (+0.7)	17.1 (△0.1)	17.4 (+3.4)	10.9 (△1.7)	13.5 (+0.6)
60-64歳	16.7 (+1.5)	16.3 (+0.9)	20.1 (△0.1)	14.0 (+1.0)	14.6 (+1.4)
65-69歳	11.3 (+0.4)	13.2 (+0.6)	13.8 (△0.3)	16.3 (+2.6)	12.3 (△0.2)
70-74歳	5.6 (△0.9)	10.5 (+1.4)	9.9 (+0.2)	17.1 (+1.4)	17.6 (+3.1)
75-79歳	3.1 (△1.0)	4.2 (△1.0)	6.6 (+0.1)	8.1 (△1.0)	9.5 (△0.4)
80歳以上	4.4 (+1.9)	2.6 (△1.1)	5.4 (△0.7)	9.9 (+0.6)	10.0 (+0.4)
平均年齢	男性 54.5歳	56.9歳	59.1歳	61.4歳	61.3歳
	女性 57.4歳	58.9歳	60.9歳	64.1歳	64.2歳

3. 就任経緯別では「同族承継」が増加し、「創業者」が減少

社長に就任した経緯別では、最も多い「同族承継」が 57.7%と半数を超え、「創業者」が 30.1%で続く。「同族承継」と「創業者」を合わせると 9 割近くを占める状況はここ数年変わらないが（2019 年 88.0%、2020 年 86.5%、2021 年 88.3%、2022 年 87.8%）、縮小していた両者の差（2019 年 26.0 ポイント、2020 年 23.7 ポイント、2021 年 14.9 ポイント）が、2022 年は一転して 27.6%に拡大した。

■女性社長の就任経緯別（長野県）



このほか、「内部昇格」8.2%、「出向・分社化」2.1%、「買収」1.4%、「外部招聘」0.5%。

「同族承継」「内部昇格」「外部招聘」が増え、「創業者」「買収」「出向・分社化」は減少している。

全国の女性社長の就任経緯は、「同族承継」50.7%、「創業者」35.2%、「内部昇格」8.4%、「出向・分社化」2.6%、「買収」1.6%、「外部招聘」1.4%。長野県は、「創業者」「買収」「内部昇格」「外部招聘」「出向・分社化」で全国の割合を下回った。

	全国 (%)	長野県	前年比	全国比
創業者	35.2	30.1	△ 6.6	▲ 5.1
同族承継	50.7	57.7	+6.1	+7.0
買収	1.6	1.4	△ 0.2	▲ 0.2
内部昇格	8.4	8.2	+0.5	▲ 0.2
外部招聘	1.4	0.5	+0.3	▲ 0.9
出向・分社化	2.6	2.1	△ 0.2	▲ 0.5

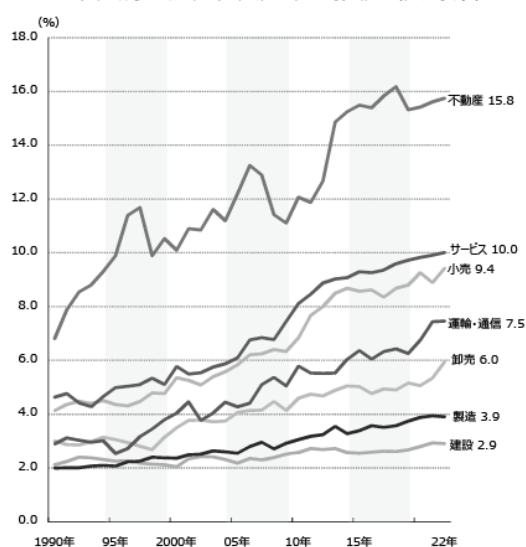
長野県全体で428社が集計対象

4. 女性社長比率が最も低い業種は 2.9%の「建設」、**「製造」は 3.9%**

業種別で女性社長比率が最も高かったのは「不動産」の 15.8%。以下、「サービス」(10.0%)、「小売」(9.4%)、「運輸・通信」(7.5%)と続き、この4業種が平均を上回っている。最も低かったのは「建設」の 2.9%。「製造」(3.9%)、「卸売」(6.0%)も平均を下回った。社数の多い「建設」と「製造」の女性社長比率の低さが全体に影響している。最も高い「不動産」と最も低い「建設」の差は 12.9 ポイント。

全国でも、「不動産」(17.2%)が最も高く、「建設」(4.8%)が最も低かった。

■業種別 女性社長比率の推移（長野県）



業種別	1990年 (32年前)	2000年 (22年前)	2010年 (12年前)	2015年 (7年前)	2020年 (2年前)	(%)		(pt)	
						2022年 現在	対31年前 増減	対前年 増減	
建設	2.1	2.1	2.6	2.6	2.8	2.9	+0.8	±0.0	
製造	2.0	2.4	3.1	3.4	3.9	3.9	+1.9	±0.0	
卸売	3.0	3.5	4.6	5.0	5.1	6.0	+3.0	+0.6	
小売	4.1	5.4	6.8	8.6	9.3	9.4	+5.3	+0.5	
運輸・通信	2.9	4.0	5.8	6.4	6.8	7.5	+4.6	+0.1	
サービス	4.6	5.8	8.1	9.3	9.8	10.0	+5.4	+0.1	
不動産	6.8	10.1	12.1	15.5	15.4	15.8	+9.0	+0.2	

まとめ

今回の調査で女性社長比率は全国 8.2%、長野県 6.5%。女性社長比率は緩やかに増加し、過去最高を更新したものの、依然として1ケタ台にとどまり、低水準で推移している。特に建設業と製造業においては顕著。全国の中で長野県の女性社長比率が低位なのは、女性社長比率の低い製造業の集積度が高いという産業構造が影響している可能性がある。現在の女性社長比率だけでなく、キャリアを蓄積した30代、40代が中心となるミドル女性世代のキャリアアップの重要性が高まるが、帝国データバンクの調べでは企業の役員のうち女性が占める割合は全国 12.7%に対して、長野県 12.1%。管理職は全国 9.4%に対して、長野県 8.7%とそれぞれ全国を下回る。また、長野県は全国の女性社長と比べ、「同族承継」が多く、「創業者」が少ないことも特徴といえる。

女性、シニア、外国人など、近年注目されるダイバーシティ（多様性）は組織の強靱化に欠かせない。過去の研究では、性別多様性が高い方が好業績を上げる傾向がみられるなど、女性活躍による企業へのプラスの効果が明らかになっている。そればかりではなく、同じ属性の集団ばかりでいると思いが似通うことで、創造的な発想が失われてしまう「Group Think」（集団浅慮）と呼ばれるデメリットも指摘されている。こうした現象を防ぐためにも、多様性は重要なテーマであり、女性が活躍できる環境づくりはその第一歩となるだろう。

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。
当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。
著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。

【内容に関する問い合わせ先】

株式会社帝国データバンク 長野支店 担当：中澤
TEL 026-232-1288 FAX 026-232-5383